

橋本良忠氏

地域環境を考えた知識産業を目指して



橋本良忠氏
土木地質㈱代表取締役

昭和48年の会社設立以来、素晴らしい人材に恵まれ、技術畑一筋に専念出来た自分が幸せだと思います……。と、トツトツと語り出す橋本社長は、続けて「技術は豊かな人間性に支えられて始めて生きるもの、技術者の前に人間であれ」と、若かりし頃、青年海外協力隊員として赴任した、2年間のモロッコ体験を振り返って言明した。

一見温厚そうに見えるが、なかなかのようである。

経営とは？との間に「気配り」と一言。「言いつくされてますが企業は人なり。人は各々が何を為すべきかを心得てます。ただ時々、石垣の目次が弛むように人間関係がギクシャクする、そんな時の一声、その気配りが経営です……」と、こんな事で会社本当に大丈夫なのかと思いつつ、素晴らしい人材に恵まれた、との前言を思い出して納得した。

経営者としての本音を聞き出すため、将来の展望について一言求めたのに対して、「企業の社会的責任は存続する事であり、利潤を追究する事よりも、損失をいかに回避するかの知恵を結集する事にある。」とし、「業種がら、地域にやさしい環境づくりに参加すること。」と言明する。そして、研究機関や異業種分野との技術交流により生まれた、斜面の崩壊予知を探查するフィールド用AE装置の開発や、産廃の安定処理技術等の開発を目的とした、環境理化学研究所を開設するに至った、過去10年余の歩みを熱っぽく語り続けた。その目は爛々と輝き、恋を語る青年の瞳を想わせるようで、印象的だった。

趣味は下手の横好きのゴルフと推理小説。酒は屋台雰囲気、肩寄せ合って飲む酒が性に合い、特に肴には目がなく、地方地方でうまい物屋を探し当てる直感は神がかりとのこと。

会社恒例の忘年会で、年一回持ち歌の「クズランコ」を披露するのが唯一のなぐさめ……とか。

Profile

- 昭和16年1月生まれ 51才
- 昭和40年 東北大卒
- 昭和48年 土木地質㈱創立
現在に至る
- 趣味 ゴルフ、読書

(インタビュー広報委員会)